

平成29年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立高齢者総合サポートセンター 「かがやきプラザ」	所在地	千代田区九段南一丁目6番10号
-----	---------------------------------	-----	-----------------

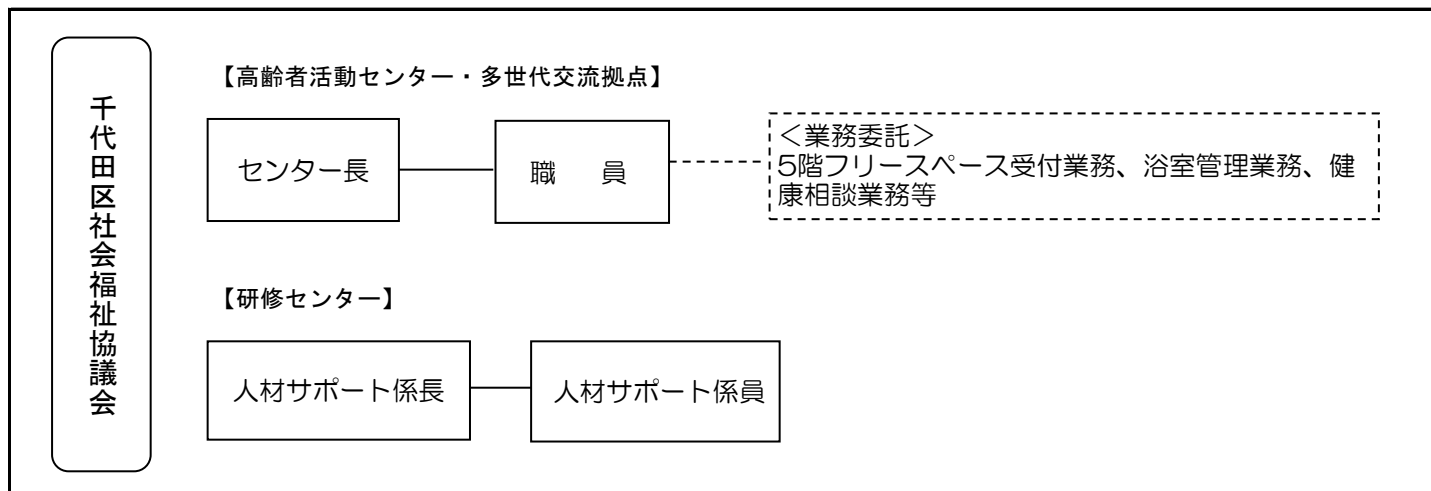
1 指定管理者の概要

名称	社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会	代表者	会長 田邊 恵三
所在地	千代田区九段南一丁目6番10号		
指定期間	平成28年1月1日～平成33年3月31日	報告期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	<p>【高齢者活動センター・多世代交流拠点】 高齢者の各種相談に応じるほか健康の保持・増進、教養の向上、レクリエーションなどの便宜を提供し、高齢者福祉の増進を図るとともに、世代間交流の機会を通じ、地域のにぎわいの創出を図る。</p> <p>【研修センター】 介護・医療等に関する知識・技術の向上を図る企画・実践や研修プログラム等の計画的な実施並びに、自主学习等の場の提供により、専門性を備えた良質な介護・福祉人材等の確保及び育成を総合的に推進する。</p>
管理業務の内容	<p>【高齢者活動センター・多世代交流拠点】</p> <p>(1) 高齢者活動センター事業に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康維持増進、機能回復訓練 ②教養の向上、レクリエーション ③健康相談、指導等 ④多世代交流事業 <p>(2) 施設・設備の保守および維持管理</p> <p>【研修センター】</p> <p>(1) 次に挙げる講習、講座等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①高齢者の介護者及び地域活動指導者を養成するための講習、講座等 ②ボランティアを養成するための講習、講座等 ③福祉専門職員等の研修のための講習、講座等 ④福祉専門職員等の復帰支援のための講習、講座等 <p>(2) 閲覧室の管理</p>

3 管理体制の状況



4 事業実績等

【高齢者活動センター・多世代交流拠点】

ア 利用者数実績

○個人利用

	年間開館日	浴室開設日数	利用者数		利用登録者数	新規登録者数	入浴者数	一日平均入浴者数
				一日平均利用者数				
29年度	349日	349日	61,985人	178人	1,407人	308人	22,112人	63人

○事業関係参加者数

	健康づくり事業			講座・講習会等	手づくり事業・レクリエーション	同好会・長寿会支援	ふれあいクラブ	多世代交流	ボランティア活動	見学等
	健康づくり事業	機能回復訓練	その他の健康事業							
29年度	4,577人	977人	16,318人	6,549人	1,948人	4,547人	2,823人	1,447人	2,073人	81人

*人数は延べ人数

イ 活動事業実績

項目	内容
	29年度
活動センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ・かがやき大学（153回、5,933人）／講習会（45回、311人）／出張講習会（22回、305人） ・利用者懇談会（6回、254人） ・ふれあいクラブ（昼食会：164回、2,771人／研修交流会：3回、52人） ・多世代交流事業（28回、1,447人）
同好会活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・同好会53団体（廃止になった同好会5団体・新規登録同好会4団体含む） ・同好会地域福祉活動 連雀はあとカフェ（民謡2回、フラダンス）、和泉橋菊寿会（民謡）、いきいきはあとカフェ（ウクレレ）、ふれあい秋まつり（沖縄舞踊）
長寿会活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・連合長寿会役員会（10回）、長寿会各地区例会（56回、2,732人）、ふれあい秋まつり（884名）、福祉芸能大会（468人）、広報誌「はくちょう」発行（9月/3月 計4,000部）
ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動回数575回 活動人数2,073人
PR活動	<ul style="list-style-type: none"> ・月報「のぞみ」発行（2,500部/月）、高齢者活動センター利用の手引き、同好会の手引き、その他区報・社協だより等

*人数は延べ人数

ウ 施設の維持管理業務

- ・浴室浴槽管理業務（定期点検含む）
- ・5階フリースペース案内受付業務（利用証確認等）

【研修センター】

ア 活動事業実績

(1) 講習、講座等

項目	ボランティアの充実	家族介護者の支援	介護・福祉サービスの充実	介護と医療の連携づくり	福祉知識の普及・理解促進	介護福祉人材の育成と就職の一体的支援	介護カウンセリング	講座等実績計
講座等回数	25回	6回	31回	9回	8回	19回	23回	121回
参加者数	478人	196人	671人	300人	480人	235人	40人	2400人

(2) 閲覧室利用開放日数

349日

5 収支の状況

【高齢者活動センター・多世代交流拠点】

収 入		支 出	
指定管理料収入	94,657,000円	人件費支出	56,025,523円
事業収入	2,874,600円	事務事業費支出	27,193,184円
その他収入	212,280円	その他	473,910円
合計(①)	97,743,880円	合計(②)	83,692,617円
収支差額(①-②)	14,051,263円		

【研修センター】

収 入		支 出	
指定管理料収入	18,270,651円	人件費支出	17,018,116円
事業収入	207,900円	事務事業費支出	5,639,236円
その他収入	0円	その他	490,410円
合計(①)	18,478,551円	合計(②)	23,147,762円
収支差額(①-②)	-4,669,211円		

【その他(1階総合受付業務)】

収 入		支 出	
指定管理料収入	3,635,000円	事務事業費支出	3,243,920円
合計(①)	3,635,000円	合計(②)	3,243,920円
収支差額(①-②)	391,080円		

6 指定管理者による自己評価

	サービス提供に関して	収支に関して
29年度	<p>【高齢者活動センター・多世代交流拠点】</p> <p><分析> ①平成29年度は、事業の本格実施2年目ということもあり、落ち着いた感はあるが、新規登録は308人であり、旧高齢者センター時に比べて高水準を維持している。 ②元気な高齢者が自ら楽しむだけでなく、かがやきプラザに来館できない高齢者等のために、地域に出向いて演芸等を披露する同好会等も出てきており、元気高齢者による地域貢献活動の動きが出てきた。 ③マージャンやビリヤードなど、施設遊具の利用者有志が協力し合って主催者となり大会等を開催して交流を促進するなど、利用者による主体的な活動が出てきた。 ④健康づくり利用者アンケートを実施し、地域別の利用者のニーズ等を把握でき、平成30年度の事業計画に活かすことができた。 ⑤和泉橋地区の高齢者にかがやきプラザの利用促進を図るため、和泉橋地区の町会施設を利用して、プログラムとして人気の高いかがやき大学の和泉橋分校を開設した。 ⑥多世代交流事業は、利用者がボランティアとして事業の企画運営に参加するようになり、区民による、区民のための事業運営に向けて進んでいる。</p> <p><総評> 高齢者活動センター・多世代交流拠点の事業を通じて、元気な高齢者が仲間づくり、生きがいつくり、健康づくりに参加するとともに、高齢者の主体的な社会活動を支援することで、健康寿命の延伸に寄与することに一定の成果が出ていると考えている。 今後も、高齢者がいつまでも元気で、その人らしく暮らしていけるよう支援していきたい。</p>	<p>【高齢者活動センター・多世代交流拠点】</p> <p><収入状況> 収入執行率は、予算対比で100.1%であった。</p> <p><支出状況> 支出執行率は、予算対比で88.7%であった。</p> <p><分析> 人件費、事務事業費のいずれも80%以上の執行率となった。</p>

<p>【研修センター】 <分析> ①ボランティアの養成では、講座修了生のボランティアグループ化、認知症サポーター講座修了生への区内認知症カフェのボランティア活動紹介、施設（かんだ連雀）を拠点に在宅高齢者を支えるボランティア養成後の施設による定例学習会の実施等、講座だけでは終わらせない工夫を行った。また、多世代交流拠点と連携し、多世代交流食堂の料理・運営ボランティアを養成し、継続的な活動につなげた。 ②家族介護者支援では、基礎編・実践編にレベルを分け、それぞれ3回の連続講座（計6回）を開催し、連続した学びと参加しやすい工夫を行った結果、参加者増につながった。 ③介護・福祉・医療専門職向け研修も体系化し、基本編、中級編、上級編等に分けた研修の実施、学びを深め定着を図るため、1回完結の講座だけではなく、連続講座も実施した。 ④医療と介護の連携を図る多職種協働研修、九段坂病院と連続の共催研修、訪問看護ステーション向けの研修を行う等、医療と介護の連携や医療職の福祉への理解を深める研修を行った。 ⑤介護・福祉人材の育成と就職を一体的に支援するため、区内の介護・福祉専門学校2校と介護福祉7法人と協定を締結した。</p> <p><総評> ①28年度よりも4割強の参加者増となり、全事業の参加者がのべ2,400人となった。 ②区介護サービス推進協議会会員事業所を対象に、研修ニーズと人材に関するアンケート調査を実施し、研修ニーズの把握を行い、研修企画や開催時間等に反映させた。昼間から夜間の時間帯を中心とした研修開催にした結果、参加者増につながることができた。 ③新規事業として取り組んだ「介護・福祉人材の育成と就職の一体的支援事業」では、区内の人材養成校と事業所が協定を締結することでつながり、区内養成校の卒業生の区内事業所への就職を促進する基盤づくりをすすめられた。 ④ボランティア、家族介護者向け講座、介護・福祉・医療職向け講座、多職種協働研修においては、研修センターのみで企画するのではなく、講座の目的に合わせ、関連する機関の協力や関係機関との連携・協働により、お互いが得意とする強みを活かした企画を行い、研修内容の充実を図ることができた。</p>	<p>【研修センター】 <収入状況> 収入執行率は予算比で84.8%の収入があった。 <支出状況> 支出執行率は90.9%であった。 <分析> 介護・福祉・医療職向け研修等では参加費を徴収したが、研修室の貸出しによる利用料収入がなかった等により、支出が収入を上回っている。</p>
---	--

7 区としての評価・今後の方向性

<p>29年度</p>	<p>○高齢者活動センター・多世代交流拠点 高齢者活動センターを基盤として、元気な高齢者が地域に出向いて演芸等を披露する同好会等、元気高齢者による地域貢献活動につながったことは高く評価できる。 また、健康づくり利用者アンケートを実施し、平成30年度の事業計画に活かすなど利用者ニーズを生かす事業運営に努力している。 和泉橋地区の高齢者に向け、かがやきプラザの利用促進を図るため、和泉地区に出向いてかがやき大学を実施し、参加を呼び掛けたことも評価できる。 多世代交流事業は、利用者がボランティアとして事業の企画運営に参加するなど、区民による、区民のための事業運営に向けてとりくんでいることが評価できる。</p> <p>○研修センター 研修センターは、参加者が、前年度比4割強の増となり、全事業の参加者がのべ2,400人となったことは高く評価できる。また、アンケート調査による研修ニーズの把握を行い、研修企画や夜間を中心とした開催時間等に反映させより参加しやすい環境を整えた。 新規事業「介護・福祉人材の育成と就職の一体的支援事業」については、区内事業所等への学生の就職が促進するよう、区とともに養成校と区内介護事業所等とのパイプ役として引き続き取り組んでほしい。</p>
-------------	--